



森永製菓株式会社
<http://morinaga.co.jp>



“おいしく、たのしく、すこやかに”

証券コード 2201

森永製菓株式会社
第169期第2四半期
株主通信
2016年4月1日～2016年9月30日



代表取締役会長 森永 剛太



代表取締役社長 新井 徹

代表取締役会長

森永 剛太 もりなが ごうた

経 歴

- 1962年 森永製菓株式会社入社
- 1977年 株式会社森永キャンデーストア入社
- 1983年 森永製菓株式会社取締役就任
- 1986年 経理部長委嘱
- 1988年 常務取締役就任
- 食品事業本部長委嘱
- 1990年 鶴見工場長委嘱
- 1995年 菓子事業本部長委嘱
- 1997年 代表取締役社長就任
- 2006年 代表取締役会長就任

(現在に至る)

代表取締役社長

新井 徹 あらい とおる

経 歴

- 1973年 森永製菓株式会社入社
- 1998年 人材開発部長就任
- 2001年 グループ事業企画部長就任
- 2002年 株式会社エンゼルフードシステムズ 代表取締役社長就任
- 2005年 森永製菓株式会社理事・広報・IR部長就任
- 2008年 取締役就任 広報・IR部長兼広告部長委嘱
- 2009年 経営企画室長委嘱
- 2012年 常務取締役就任 海外事業部管掌
- 2013年 代表取締役社長就任

(現在に至る)

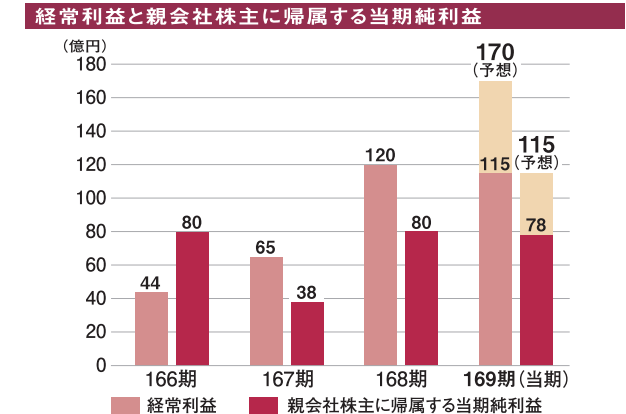
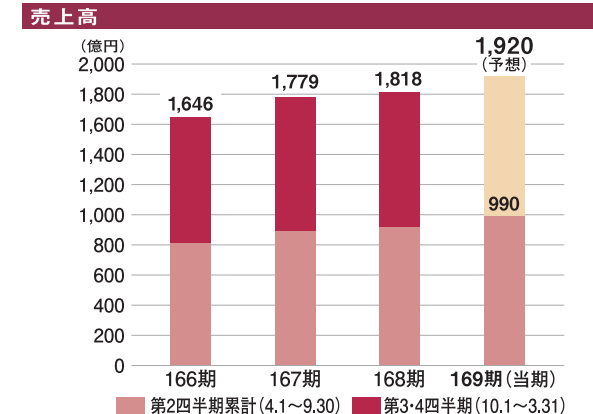


代表取締役社長 新井 徹

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は明治32(1899)年、創業者・森永太一郎が「日本の子どもたちに、おいしく栄養価の高い西洋菓子を届けたい」との想いで創業して以来、技術の研鑽を重ね、日本人の繊細な嗜好に合う高い品質の商品をつくり続けてまいりました。創業116年の前年度には、皆様のご支援のおかげをもちまして過去最高益を達成し、長らくご愛顧をいただいているブランドと技術は、日本から世界へと羽ばたきつつあります。

しかしながら、昨今の世界情勢は、経済の変動やビジネスモデルの変化もめまぐるしく、先行きの不透明な時代です。この中で事業の成長を推し進めるには、従来の常識を超えた新たな発想力や深い考察力、迅速な行動力が必要です。私たちは今後も「おいしく、たのしく、すこやかに」のビジョンのもと、「価値と感動」をご提供し続けることを使命に、時代の潮流をしっかりと捉えて一層の経営基盤の強化と成長戦略に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ 売上高・利益とも過去最高を更新

当期は2015中期経営計画の2年目として、前期に引き続き「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。当第2四半期は、主力の食料品製造事業が、前期同様好調に推移し、売上高は前年同期比7.8%増の990億円となりました。損益では、売上高増収と商品規格や品目数の見直しによる売上原価率の改善、生産の効率化や販売費の効率的投入によるコスト低減などにより、営業利益は前年同期比70%増の112億円、経常利益は67%増の115億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は57%増の78億円と、いずれも過去最高益となりました。

「ウイダー inゼリー」
「チョコモナカジャンボ」が好調を牽引

食料品製造事業の売上高は、前年同期比8.1%増の946億円となりました。好調を牽引したのは、健康部門の「ウイダー inゼリー」と冷菓部門の「チョコモナカジャンボ」です。「ウイダー inゼリー」は、夏場の需要拡大と共に広告販促や売場拡大の営業取り組みも奏功して前年同期比125%と大きく伸長しました。2014年の規格変更で一度は売上が低下しましたが、その後の機能別の広告訴求と販促が、健康意識の高まりやライフスタイルの変化から生じる生活者の潜在ニーズに届き、コアユーザーの再定着や幅広い購入層の獲得に繋がったものと分析しています。「チョコモナカジャンボ」は、当期も好調で16年連続売上伸長を継続し、「バニラモナカジャンボ」と合わせたジャンボグループで前年同期比108%となりました。差別化された商品力に加え、マーケティング・営業・生産・物流まで関係各部署が商品価値を損なわずにお客様にお届けするための取り組みを徹底したことにより、夏期の店頭回転率が向上し、最需要期のブランド強化にも繋がりました。

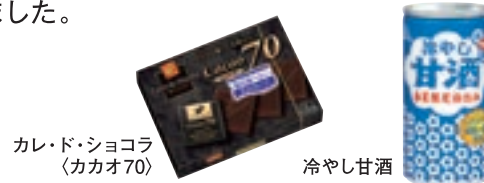


ウイダー inゼリー
エネルギー マルチビタミン



チョコモナカジャンボ

菓子食品部門は、国内では、カカオの健康効果への注目でハイカカオチョコレート市場が伸び続け、「カレ・ド・ショコラ」は前年同期比135%と伸長しました。チョコレートに限らず菓子食品市場で「健康」の視点はますます欠かせないものとなっており、「森永甘酒」も健康や美容面で話題を集めて前年同期比176%と大きく伸びています。他ブランドでは「おっとと」「森永ココア」が前年同期実績を上回りましたが、輸入品「チュッパチャプス」の販売権を他社に移管した影響もあり、国内の菓子食品部門全体では、前年同期実績並みとなりました。



カレ・ド・ショコラ
(カカオ70)

冷やし甘酒

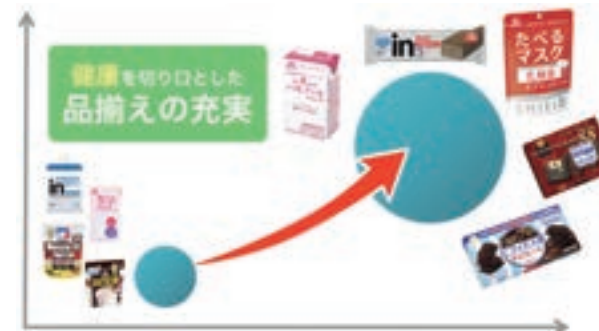
海外では、米国の「HI-CHEW」が大型チェーン導入により取扱店数も増加し好調に推移しました。インドネシア・中国・台湾も前年同期実績を上回り、各国ともビジネスの基盤が順調に固まりつつあります。

食料品製造事業のセグメント利益は、「ウイダー inゼリー」など高収益商品の好調によるプロダクトミックス効果、品目数の削減、ブランド力の高い定番商品を中心とした販売費の効率的投入、生産コストの削減等により、前年同期実績を大きく上回って前年同期比76%増の111億円となりました。収益力の強化において一定の成果が得られたと考えております。

強い収益基盤確立と「健康」「海外」の
成長戦略で新たなステージへ

当社グループは、皆様のご支援を賜り、前期は営業利益114億円の過去最高益を達成いたしました。当期は、前期の好調を真の実力に変え、従来の利益水準から一段上がった新たなステージで、安定した収益基盤と強い経営体質を確固たるものにするための1年と位置付けており、当下期においてもその方針は変わりません。今後も、既存分野での強い収益構造の上に「健康」「海外」両分野の成長を重ね、中期経営計画に掲げる「経営基盤の強化」を目指してまいります。「健康」においては、事業の枠を越えた新しい「健康」切り口の商品開発を強化します。「海外」においては、米国市場では広告や販促を強化してトライアル促進とコアユーザーの獲得、東南アジア市場では「モリナガ」ブランド商品での販路拡大と認知向上に取り組み、成長を加速させていきます。

●成長分野：健康を切り口とした商品開発強化



当第2四半期の業績を踏まえ、通期連結業績予想は売上高1,920億円、営業利益165億円、経常利益170億円へ上方修正いたしました。しかし現在の国内消費はデフレ回帰傾向や消費の伸び悩みが度々報道され、市場や流通の動向からも景気の潮目はやや厳しい方向に変わりつつあると感じています。このような時こそ、一層の実行力と強い意志を以て経営に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●安定的な利益成長の実現に向けて



●成長分野：海外成長市場の開拓とブランド認知向上



森永キノインドネシア「CHEW2-BALL」

東南アジアの店頭

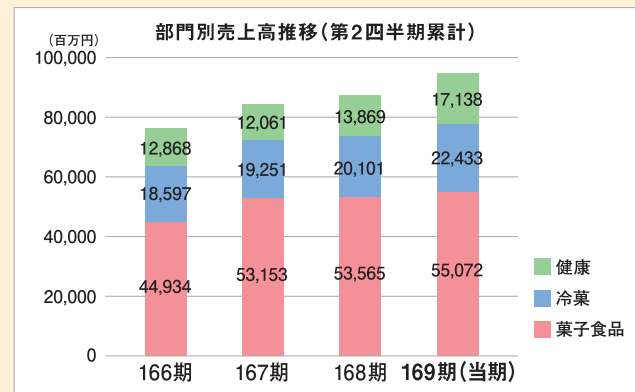
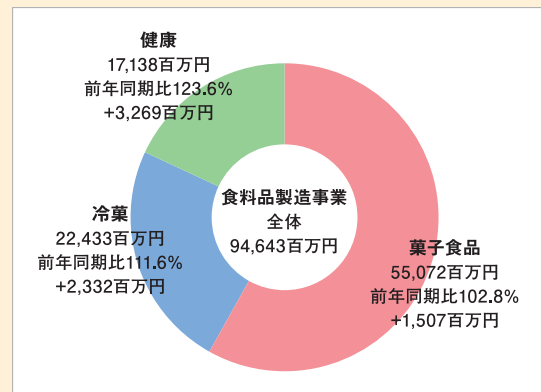
●セグメントの状況

	売上高(百万円)	前年同期比	構成比	セグメント利益(百万円)	前年同期比較(百万円)
食料品製造	94,643	108.1%	95.6%	11,168	4,810
食料卸売	2,837	106.0%	2.9%	180	21
不動産及びサービス	1,245	95.5%	1.3%	342	▲15
その他	278	83.7%	0.3%	29	▲17

●食料品製造事業の部門別売上高と推移

食料品製造事業全体では、菓子食品・冷菓・健康の3部門ともに伸長し、売上高は946億円で前期比8.1%増の増収となりました。

セグメント利益は、売上高増収、売上原価率改善、販促費の効果的な投入等により前年同期実績に比べ48億円増益の111億円となりました。



菓子食品部門

国内の主力商品では「おとっと」が前年同期比124%、「カレ・ド・ショコラ」が前年同期比135%と大きく伸長しましたが、「森永ビスケット」「チョコボール」が前年同期実績を下回り、国内全体では前年同期実績並みとなりました。

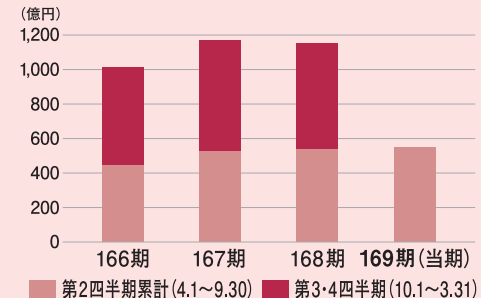
海外では、米国の「HI-CHEW」が好調に推移し、インドネシア、中国も前年同期実績を上回ったことにより海外全体で前年同期実績を上回りました。

これらの結果、菓子食品部門の売上高は前年同期比2.8%増の550億円となりました。



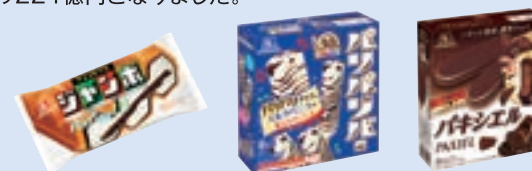
菓子食品売上 55,072百万円 前年同期比102.8%

菓子食品部門売上高推移



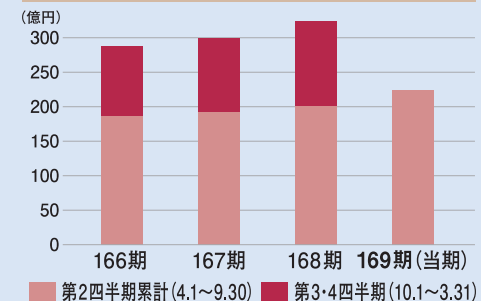
冷菓部門

主力の「チョコモナカジャンボ」「バニラモナカジャンボ」のジャンボグループが前年同期比108%で好調に推移した他、「バリバリバー」「バキシエル」等マルチパックも前年同期比119%と伸長しました。また、コンビニエンスストア向けのプレミアム商品も好調に推移し、冷菓部門全体の売上高は前年同期比11.6%増の224億円となりました。



冷菓売上 22,433百万円 前年同期比111.6%

冷菓部門売上高推移



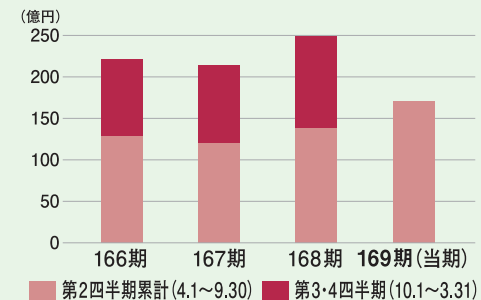
健康部門

主力の「ウイダーinゼリー」は夏場需要の取り込みを図るべく、機能性を訴求したマーケティングや広告展開の効果等もあり前年同期比125%と大きく伸長しました。通販事業の「天使の健康」シリーズでは主力の「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期比125%、独自開発の健康素材「パセノール™」関連商品が前年同期比136%となりました。これらの結果、健康部門全体の売上高は前年同期比23.6%増の171億円となりました。



健康売上 17,138百万円 前年同期比123.6%

健康部門売上高推移



G7伊勢志摩サミット「サミットバッグ」に「ハイチュウ」が採用

今年5月に開催された「G7伊勢志摩サミット」で各国代表団とプレス関係者向けに配布された「サミットバッグ」の封入品に、「ハイチュウアソート」が採用されました。

「サミットバッグ」には日本を代表する伝統工芸品、実用品、菓子など十数点が封入されており、当社は公式ロゴマークを印刷したサミット専用「ハイチュウアソート」4,000個を提供いたしました。また、プレスセンターには「ウイダー inゼリー」3,000個を提供し、各国代表団と世界のプレス関係者に向けて、当社商品をPRいたしました。



森永製菓(株)は伊勢志摩サミットを応援しています

公式ロゴマークを加刷した「ハイチュウアソート」

「健康」切り口商品ラインアップを拡充

森永製菓では「健康」を成長分野の柱の1つとして、さまざまな商品を開発・発売しています。8月には健康志向で伸長を続けるハイカカオ市場に向けてカカオ分88%の「カレ・ド・ショコラ〈カカオ88%〉」、健康素材であるくるみやざくろと組み合わせたコンビネーションチョコレート「カカオ70×くるみ」「カカオ70×ざくろ」、9月には、森永乳業の『シールド乳酸菌』を配合した「シールド乳酸

菌タブレット」、10月にはカカオ70%のチョコレートに森永乳業の『ビフィズス菌BB536』を配合した「ビフィズス菌チョコレート」を発売いたしました。また当社独自開発の健康素材「パセノール™」はサプリメントに加え、化粧品のラインアップも拡充しております。これからも事業の枠を越えて「健康」ニーズに応える商品開発を行ってまいります。



カレ・ド・ショコラ〈カカオ88%〉



カカオ70×くるみ



カカオ70×ざくろ



シールド乳酸菌タブレット



ビフィズス菌チョコレート



パセノール化粧品

森永製菓は、「世界中の子どもたちに貢献できる企業になる」という夢の実現に向けて社会貢献活動に努めます。

子どもたちの成長を応援「チャレンジ! 無人島探検隊inせとうち」を開催

森永製菓では、社会貢献活動の一環として、未来を担う子どもたちの心と身体のすこやかな成長を応援するため、「食育体験」「自然体験」「スポーツ体験」の観点から、年齢ごとの成長過程や発達課題に応じた体験型のプログラムを「森永エンゼルスクール」として展開しています。



兵庫県姫路沖に浮かぶ無人島「松島」

8月2日~7日、小学校4~6年生の計32名の子どもたちが無人島での生活を体験する『チャレンジ! 無人島探検隊inせとうち』を開催いたしました。子どもたちは大自然の中で、生物多様性の保全や食べ物を得ることの厳しさや喜び、自然との共生のためのさまざまな知恵、仲間との協力の大切さなどを学び、貴重な夏の思い出と共に一回りたくましく成長しました。これからも、さまざまな体験を通して、子どもたちの成長に貢献できる活動を続けてまいります。



手作りの釣竿で魚釣り



釣れた魚は自分たちで捌きます

平成28年熊本地震 被災地支援のご報告

今年4月に発生した「平成28年熊本地震」により、被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。森永製菓では本震発生後4月16日の熊本県庁への緊急支援物資送付をはじめ、「ウイダー inゼリー」「森永ビスケット」などの商品合計

158,000個を支援物資としてお送りいたしました。

また、森永乳業と共同で森永グループとして、日本赤十字社に義援金5千万円を寄贈いたしました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

株式会社アントステラ

「ステラおばさんのクッキー」で全国に店舗を展開するアントステラでは、毎月9の付く日のお客様感謝デー企画「クッキー詰め放題」が大盛況で今期は日程を増やして開催しています。

さらに直営店舗の他、上質な贈答品を揃える各地の銘店コーナーも好調に推移しており、今期はイオン様・アピタ様・平和堂様などで上期(3月～8月)に52店舗から89店舗、10月末には119店舗まで、大幅に拡大しています。

また、レモン・スイカなど季節のフルーツをテーマにしたクッキーやギフトも順調に伸びており、今後もクッキー専門店ならではの美味しさと楽しさをお届けしてまいります。



袋からあふれるほどの詰め放題クッキー
(※詰め放題企画を実施していない店舗もございます)

贈答品が並ぶ銘店の店頭

東南アジア市場への取り組み

東南アジアは経済発展が著しく、若年層が多い人口構成からも、今後の成長への期待が高い市場です。当社は東南アジアを海外戦略の重点地域と位置付け、2013年に森永キノインドネシアを設立、2015年に市場調査と情報収集を目的にタイ駐在事務所を開設いたしました。

現在はタイ、ベトナム、フィリピン、ミャンマーなど各国で「モリナガ」ブランド商品の発売を開始し、GT市場(General Trade/伝統的な個人商店など)では森永キノインドネシア製の「CHEW²-BALL」、MT市場(Modern Trade/スーパー、CVSなど)では中国・台湾製の「HI-CHEW」

など、各市場に合った幅広い商品ラインアップで成長市場の開拓、ブランド認知とシェアの拡大に取り組んでいます。



小売店頭と吊下げ「CHEW²-BALL」
(左:カンボジア 右:ミャンマー)



スーパーの「HI-CHEW」
(タイ)

IR情報は当社ホームページ上でもご覧いただけます。

● 森永製菓ホームページトップ

企業・IR情報 「企業・IR情報」にマウスオン→「IR情報」をクリックでダイレクトに移動できます。

財務・業績 過去5期分の連結財務・業績推移とセグメント別の業績推移を、グラフと表で掲載しています。

IRニュース 決算短信の発表、IR関連の最新ニュース、株式に関するお知らせなどを掲載しています。

直近のIR資料 決算短信、有価証券報告書など最新のIR関連資料を掲載しています。

IRカレンダー 直近の決算発表予定日を掲載しています。

森永製菓 IR で 🔍 検索 <http://morinaga.co.jp/company/ir/>

● 今後も株主の皆様のお役に立つ情報の充実に取り組んでまいります。

取締役・監査役・執行役員 (H28.10.1現在)

取締役

代表取締役会長	森 永 剛 太
代表取締役社長	新 井 徹
取締役常務執行役員	白 川 年 男
取締役常務執行役員	太 田 栄 二 郎
取締役上席執行役員	平久江 卓
取締役上席執行役員	内 山 進 一
取締役上席執行役員	山 下 充 洋
取締役上席執行役員	西 宮 正
取締役(社外取締役)	宮 井 真 千 子
取締役(社外取締役)	広 田 雅 人

監査役

常勤監査役	伊 藤 直 紀
常勤監査役	茶 谷 紀 夫
監査役	坂 口 公 一
監査役	嶋 田 哲 夫

執行役員

上 席 執 行 役 員	津久井 慶 太	研究所長
執 行 役 員	小 川 耕 三	生産本部小山工場長
執 行 役 員	福 地 博 之	生産本部長
執 行 役 員	対 間 好 文	生産本部生産統轄部長
執 行 役 員	森 信 也	健康事業本部長
執 行 役 員	佐 野 友 一	健康事業本部マーケティング部長
執 行 役 員	田 中 剛	経営戦略部長
執 行 役 員	大 橋 啓 祐	新領域創造事業部長

ごあいさつ



取締役
(社外取締役)

広田 雅人

●主な経歴

- 1975年4月 花王石鹼株式会社入社
- 2004年6月 花王株式会社執行役員
花王化粧品販売株式会社取締役就任
- 2006年6月 花王株式会社取締役執行役員就任
株式会社カネボウ化粧品社外取締役就任
Molton Brown Group Ltd. 取締役会長就任
株式会社オートバックスセブン経営顧問(現任)
- 2014年7月 株式会社SMC代表取締役就任(現任)
- 2016年4月 6月 森永製菓株式会社社外取締役就任(現任)

[重要な兼職の状況]
株式会社SMC代表取締役

本年6月の株主総会で選任頂き、社外取締役として活動しております。長い歴史の中で極めて強いブランド力を培ってきた当社のさらなる成長発展に、経営の一員として参画させて頂けることを大変光栄に存じております。

長く勤めました日用品メーカーの花王では、主要な商品分野を多く経験し、ブランド開発、マーケティング、事業運営、海外事業開発、M&A・組織開発などに携わってまいりました。日用品と菓子食品で分野は異なりますが、“生活者の身近に

ある消費財のメーカー”という共通点からは、お役に立てることも多いと考えております。また企業トップマネジメントへのサポートを主務とする経営コンサルタントとして、現在も経営知見の開発を継続しております。

企業の経営は当然ながら、簡単に答えが出ることばかりではなく、むしろ常に多くの悩みの中で道を探り続けているのが、どこも実情かと思えます。ただ実務経験を振り返りますと、同じ悩みにしても、どこまで事業や課題の本質を踏まえ、顧客を深く理解したうえで“正しく悩めるか”が、その企業の力やスピードを左右するように感じます。企業価値の一層の向上に向けては、コーポレートガバナンスの強化充実とともに、そうした観点でも、客観的な立場からの貢献ができればと思っております。

就任後すでに数か月が経ちましたが、当社は「おいしく、たのしく、すこやかに」というビジョンのもと、日本はもとより海外においても、菓子食品メーカーとしてさらに成長できる大きな可能性を秘めていると感じております。実務経験を活かしつつ、当社がさらにさまざまな技術を磨き、社員の活力を高めて、世界の豊かな菓子食品文化に力強く貢献する企業へとスピードを上げていけるよう、社外取締役としても努めてまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、ぜひご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会社の概要(個別) (H28.9.30現在)

商号 森永製菓株式会社
MORINAGA&CO.,LTD.

創業 明治32(1899)年8月15日
森永西洋菓子製造所 創業

会社設立 明治43(1910)年2月

資本金 186億1千2百万円

従業員数 連結:3,240名
単独:1,356名



東京都港区・森永製菓本社屋

グループ会社 (H28.9.30現在)

連結子会社

食料品製造

- 森永スナック食品(株) 千葉県野田市
- 高崎森永(株) 群馬県高崎市
- 森永甲府フーズ(株) 山梨県甲府市
- 森永エンゼルデザート(株) 神奈川県大和市
- 森永デザート(株) 佐賀県鳥栖市
- (株)アントステラ 東京都渋谷区
- 森永市場開発(株) 東京都港区
- 台湾森永製菓股份有限公司 台湾台北市
- 上海森永食品有限公司 中国上海市
- 森永食品(浙江)有限公司 中国浙江省
- 米国森永製菓(株) 米国カリフォルニア州
- 森永キノインドネシア(株) インドネシア バンテン州
- 森永アメリカフーズ(株) 米国ノースカロライナ州

食料卸売

- 森永商事(株) 神奈川県横浜市

不動産及びサービス

- 森永高滝カントリー(株) 千葉県市原市
- 森永エンゼルカントリー(株) 千葉県富津市

その他

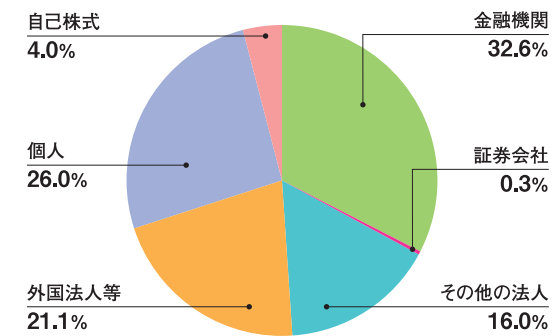
- (株)森永生科学研究所 神奈川県横浜市
- (株)森永ファイナンス 東京都港区
- 森永ビジネスパートナー(株) 東京都港区

持分法適用非連結子会社

- 森永リスクコンサルティング(株) 東京都港区
- 森永バイオサイエンス(タイランド)(株) タイ バンコク市

株式の総数 (H28.9.30現在)

● 所有者別持株比率



- 発行可能株式総数 — 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 — 270,948,848株
- 株主数 — 25,555名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

株主確定日 ● 定時株主総会 3月31日
● 期末配当金 3月31日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

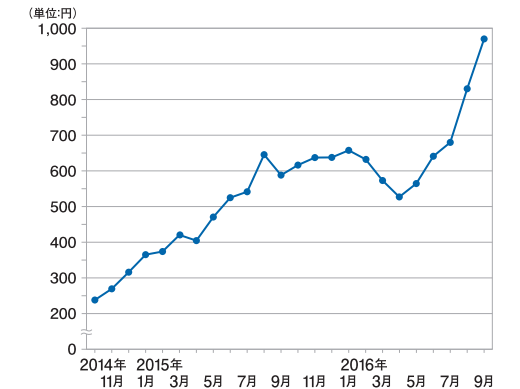
公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL http://www.morinaga.co.jp/company/ir_koukoku.html

証券コード 2201

● 森永製菓株式会社株価推移

(月次ごと最終営業日終値・株式併合前)



株式の手続に関するお問合せ先・郵便物送付先

当社の株式を証券会社の口座でお持ちの場合

お取引の証券会社になります。
ただし、未払い配当金の支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部で承ります。
連絡先は、下記をご参照ください。

当社の株式を証券会社の口座をお持ちでない場合
(特別口座の場合)

三菱UFJ信託銀行証券代行部になります。
連絡先は、下記をご参照ください。

株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)の連絡先

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行証券代行部
電話(フリーダイヤル) ☎ 0120-232-711